

JOIN

ジョイン

にら

Allium tuberosum Rottler ex Spreng.

にら

学 名 | *Allium tuberosum* Rottler ex Spreng.

原 産 地 | 東アジア

分類詳細 | ヒガンバナ科ネギ属

細長く平たい緑色の葉と、特有の強い香りが特徴のにらは、東アジアに広く自生し、日本でも古くから栽培されてきた。一般に「にら」と呼ばれるのは、細長く平たい緑色の葉を食用とする「葉にら」で特有の香りがある。刈り取った後も新芽が伸び、一つの株から複数回収穫できるのも特徴。葉にらのほか、遮光して育てる「黄にら」や若い花茎とつぼみを食用とする「花にら」などがある。

10

2026

JA OITA MAGAZINE

PICK UP

就農への STEP!



STEP 1

「いつかはやる」と思っていた農業

幼いころから祖父がにらを栽培する姿を見て育った工藤さんは、農作業を手伝うなかで、「いつかはやるんだろうな」と自然に農業を意識していたといいます。高校に進学するころには、父・武彦さんが祖父の跡を継ぎ就農しましたが、工藤さんはすぐ農業の道へは進まず、まずは別の道を選びました。

STEP 2

やりたかった仕事にチャレンジ

工藤さんが選んだのは、システムエンジニアの仕事。「すぐに就農しないで、一旦ちょっと別のやりたい仕事やろうかな」と約10年間勤務しました。農業はいずれやるものとして考えながらも、まずは自分がやりたい仕事を経験。その10年を一区切りに、就農を考えるようになります。

STEP 3

農業の道へ

退職する1〜2年前からは、会社員を続けながら休日や有給休暇には場へ出る生活をしていたという工藤さん。「この時が一番きつかった」と振り返ります。その期間を経て本格的に就農し、現在2年目。幼いころから身近だったにらづくりに、今は自分が生産者として向き合っています。



症状が出る前に、 できることを



工藤さんが、にらづくりで大切にしているのが日々の管理です。特に病気や害虫への対策は、症状が出てからではなく、定期的に予防を行っているのです。はたして定期的な予防を行えば、予防することを重視しています。

「症状が出てから対策するとかじゃなく、定期的に予防をしているのでそこがにらの秀品率に表れているのかな」と工藤さんは話します。

近年は夏の暑さや冬の暖かさなど、幼いころから見てきたにらの育ち方との違いも感じています。技術については部会の方たちと情報を共有し、変化する環境のなかでも安定した品質を保つため、周囲の知識も取り入れながら栽培しています。

経験にデータという 新しい視点を

今、工藤さんが取り組んでいるのが、温度をリアルタイムで確認・管理できる「スマート温度計」を使った温

「いい塩梅」を、 自分で探せる仕事

会社員を経て就農した工藤さんが感じている農業の魅力は「いい意味で自由なところ」。その理由を尋ねてみると、「何やってもいいというか、好きにやれる。もちろん、何をしても結果が同じになるわけではないですけど、面倒に感じて作業をしなければ、その影響が後から表れることもあれば、気を遣いすぎて『無駄にやりすぎたかな』と感じることもありますね」とそ

度管理です。ハウス内の温度データをスマートフォンに取り込み、自宅に戻ってからパソコンに保存。これまで感覚で行ってきた温度調整が「本当に合っているのか合っていないのか」を、データをもとに確かめようとしているんだそう。

の難しさを教えてくれました。日々、にらづくりに向き合っている工藤さんに最後の質問。工藤さんにとって、つくりにとは？

「常に向上心を持って野菜を作る人です。毎年同じ手順をずっとやるのではなく、もっと良い方法を考えていける人が、つくりにとなかなって思いますね」

幼いころから見てきたにらづくりに受け継ぎながら、これまでの方法をそのまま正解にはしない工藤さん。経験とデータの両方を手掛かりに、自分なりのより良い方法を探しています。

わたしのイチ推し!

かま

にらの収穫で使用するかまで、伸びたにらを根元から刈り取ります。収穫を担当する技能実習生も使っている、シンプルながら欠かせない道具です。



正解がないから面白い。

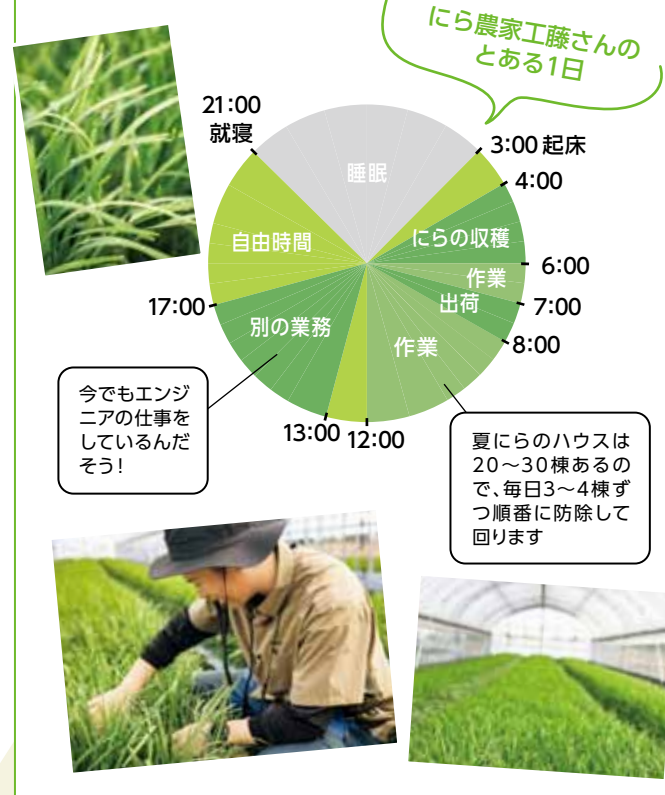
自分で考える、自由な農業へ。

JAおおいた中央にら部会
くどう けんむ
工藤 建武さん(31)

一面広がるにらに驚き…！
取材の様子は
こちらから！



PICK UP



今回は… にら

大分県は西日本を代表するにらの産地で、大分市、臼杵市、佐伯市、由布市などを中心に栽培されています。11〜7月の「冬にら」と7〜11月の「夏にら」を切り替えて栽培し、一年を通して出荷しています。鮮やかな緑色と豊かな香りが特徴です。

出荷時期 … 周年

おもな産地 … 大分市、臼杵市、佐伯市、由布市 など

わたしたちができる \ 食べて応援! //

10月16日は国消国産の日

10月16日は「国消国産の日」です。「国消国産」とは、JAグループが提唱する、「国民が必要とする食料はできるだけ国内で生産する」という考え方のこと。これは、食料自給率の向上や地域の農業を活性化させることを目指し、食の安全や安定した供給を守り、日本の農業を支える大切な考えです。

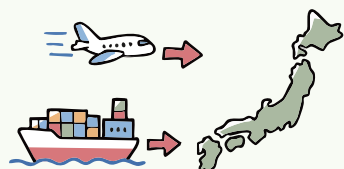
少しでも多くの方に知ってもらうために、国連が定める世界食料デーに合わせて、2021年に10月16日を「国消国産の日」と制定しました。



食と農を取り巻く5つのリスク

今、日本には食と農に関するリスクが5つあります。これらを回避するために、わたしたちは何をすればいいのでしょうか。農畜産物はすぐに生産を拡大することができません。日ごろから国産品を選び、「食べて」応援することが大切です。

1 食料自給率の低迷



食料の多くを輸入に頼っている

2 農業生産力の弱体化



生産者の減少と高齢化、農地の減少が進む

3 多発する自然災害



多くの災害が世界と日本の農業にダメージ

4 世界的な人口増加



世界の人口増加による食料不足

5 農畜産物を生み出す資材の高騰



肥料や家畜のえさ、燃料などの値上がり

国産を“食べる”ことでこないいいこと



日本の農業を食べて応援できる



自給力をアップさせるからいざというとき安心



輸送で出るCO₂を減らし、SDGsに貢献



おいしくて安全・安心な食事を実現

国産の農畜産物を選ぶことは、日本の農業や未来の食を支える第一歩です。
毎日の食卓から「国消国産」を実践し、一緒に日本の農業を“食べて”応援しましょう！



JA共済の
地域貢献活動

©2017 JA-KYOSAI



テレビ
ハッジパッジTV
ON AIR! 旬

～地域と食の未来をこなく～

7月放送分ダイジェスト

7/7 (火)

宇佐産業科学高等学校 和牛オリンピックへの挑戦

宇佐産業科学高校の生徒たちが、5年に1度開かれる牛のオリンピック「全国和牛能力共進会」に向けて、良い牛を育てるために奮闘している姿を放送しました。



7/14 (火)

目と舌で感じる 大分県産品の魅力を紹介！

フラワーデザイナーの大谷由美さんとリポーターの首藤まみかさんが、フラワーアレンジや県産農畜産物を使って料理する企画。今回は、きゅうりを使った料理を紹介しました。



7/21 (火)

大分の農業を支える “つくりびと”を直撃！

日田市できゅうり栽培をしている河津直也さんを紹介。秀品率の向上と安定した収穫量の確保に向け、試行錯誤している姿を放送しました。



8/3 (月)

園児の食育 すみれこども園

苦手な食材も楽しく食べられるよう、絵本に登場するおやつを提供することで興味を持ってもらう「絵本給食」に取り組んでいる様子を放送しました。



番組内キーワードを 答えて「おおいた和牛」を当てよう!!

番組では5,000円相当の「おおいた和牛」を毎月3名さまにプレゼント。
ご応募は、JAおおいたホームページにあるハッジパッジTVプレゼント応募フォームへ必要事項と、番組最後に発表されるキーワードを入力してください。

応募は
こちらから！



YouTubeで見逃し配信中

番組を見逃した！というあなたのために、JAおおいた公式YouTubeでは、「ハッジパッジTV」を再配信しています。
見逃した方はもちろん、一度見た方もぜひもう一度ご覧ください！

チャンネル登録
お願いします！

JAおおいた
公式YouTubeは
こちらから！



組合員の皆さまへ

ＪＡの取り組みを「知ってもらう」ことも、農業と地域を守る力になります。
5つの取り組みは、実はつながっていて、「農業を支える」だけでは、ＪＡの役割は終わりません。



これらを全部つなげるのが「ＪＡ」です



令和８年度、ここに注目！

組合員の皆さまに身近な取り組みを紹介

「安心して農業を続けられる」ために

米の集荷46万5,000袋を目指します。
生産者が安心して米づくりに取り組めるよう、適正な概算金の設定や集荷体制の強化に取り組みます。

「生産コストを抑える」ために

肥料・農業の大型規格の普及や満車直行などを進め、生産資材コストの低減に取り組みます。

「地域の食を守る」ために

直売所の品ぞろえを充実させ、次世代を担う出荷者の確保に取り組みます。
直売所売上高36億1,700万円を目指します。

「もっと便利なＪＡ」へ

金融に関するデジタルサービスや「ＪＡねっと注文」など、いつでも・どこでも利用しやすい仕組みを広げます。
スマートフォンの操作が不安…という方も、職員が丁寧にサポートいたしますので、ご安心ください。

「もっと身近なＪＡ」へ

職員が組合員の皆さまのもとへ出向き、声に耳を傾け、営農や暮らしの相談に応えます。

ＪＡの力は、組合員の皆さまと共に作るもの。

「こんなことで困っている」「こんなサービスがほしい」「地域をこうしていきたい」

そんな声を、ぜひＪＡに聞かせてください。

皆さまと一緒に考え、動き、これからのＪＡおおいたを築いていきます。

地域と食の未来をつなぐ



ＪＡおおいたは「食料・農業への貢献」「組合員と地域社会への貢献」、そして持続的な価値提供を支える「組織・経営基盤の強化」を目指しています。

この特集では、令和８年度の取り組みをご紹介します！

ＪＡおおいた／令和８年度事業計画特集

ＪＡおおいたは令和８年度

こんなことに取り組みます！

組合員の皆さまと、これからも

農業を取り巻く環境は、高齢化や担い手不足、資材高騰などにより大きく変化しています。

ＪＡおおいたは、「農業を続けたい」「安心して暮らしたい」「地域を元気にしたい」という組合員の皆さまの思いに応えるため、令和８年度の事業計画を策定しました。

そもそも「事業計画」って何？

単に「ＪＡがやりたいこと」を決める設計図ではありません。皆さまの「こんなＪＡであってほしい」というお声や、農業や地域を取り巻く環境の変化を踏まえ、「営農と暮らしをどう支えていくか」を具体的なカタチにしたものです。



令和８年度のＪＡおおいた、５つの力で組合員の皆さまを支えます

第32回ＪＡ大分県大会で提起された「５つの取り組み戦略」を柱に、ＪＡおおいたの事業計画を進めます。

①

食料・農業戦略

「つくる」を支える

次世代の担い手の確保、多様な農業者への支援、気候変動への対応などを進め、持続可能な農業の基盤をつくります。

- ▶ 農業者の所得向上
- ▶ 米・麦・大豆・園芸・畜産などの生産・販売力強化
- ▶ 安全・安心な国産農畜産物の安定供給
- ▶ 生産コスト低減

②

くらし・地域活性化戦略

「暮らす」を支える

総合事業の力を生かし、組合員のくらしの課題解決と、地域社会の活性化に取り組みます。

- ▶ 直売所の活性化
- ▶ 燃料・葬祭など生活サービスの提供
- ▶ 金融・共済サービスの充実
- ▶ 女性部・青年部活動や地域貢献活動の支援

③

組織基盤強化戦略

「つながり」を強くする

組合員との対話を大切にし、「ＪＡの仲間」を増やすとともに、組合員から選ばれ、必要とされるＪＡを目指します。

- ▶ 組合員との対話・関係強化
- ▶ 生産部会の活性化
- ▶ ＪＡ女性部・青年部などの活動支援
- ▶ 出向く活動の強化

④

経営基盤強化戦略

「ＪＡ自身」を強くする

将来にわたって組合員・利用者の皆さまへ、安定したサービスと安心を届け続けるため、健全で強固な経営基盤をつくります。

- ▶ 収支・財務の改善
- ▶ 業務効率化・デジタル化
- ▶ 人材確保・人材育成
- ▶ コンプライアンス・内部統制の強化
- ▶ 経営資源の選択と集中

⑤

広報戦略

「ＪＡの価値」を伝える

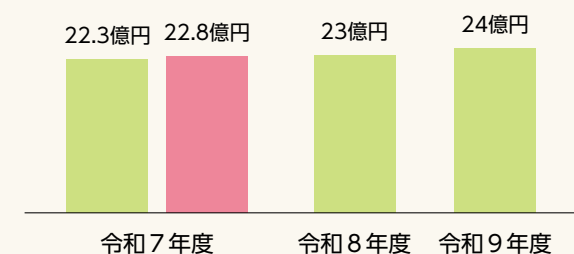
ＪＡの取り組みや「国消国産」の大切さを、組合員・地域の皆さまに分かりやすく発信します。

- ▶ 広報誌「JOIN」でＪＡの取り組みを発信
- ▶ ホームページ・SNSなどを活用した情報発信
- ▶ ＪＡまつりや各種イベントでPR
- ▶ 「国消国産」の大切さを発信
- ▶ 大分県産農畜産物の魅力を発信

農業者向け融資の拡大（新規）

信用・営農経済部門が連携し、営農設備投資や経営改善に必要な資金ニーズに積極的にお応えします。農業経営の支援機能を最大限に発揮することで、担い手農家の経営基盤強化と農業所得の向上につなげます。

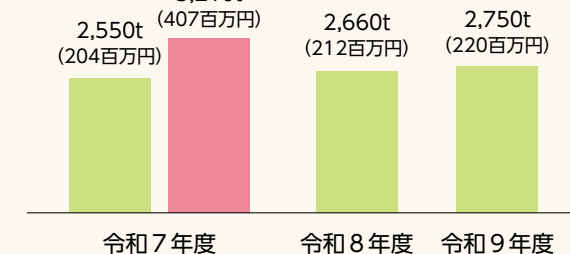
【融資実行額】 ■…計画 ■…実績



加工用野菜生産量拡大による販売高の拡大（継続）

需要に応じた加工用野菜などの安定供給・出荷・計画販売のため、メーカーなどとの契約栽培の拡大に取り組みます。契約面積の拡大と需給マッチングの強化により販売高の拡大を図り、生産者所得の向上に直結する事業として推進します。（3カ年で40百万円売上増加効果を想定）

【販売高（販売額）】 ■…計画 ■…実績



地域の活性化

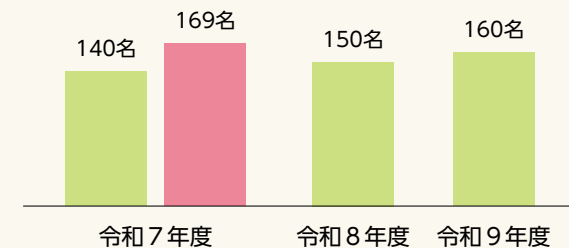
J Aと地域住民が一体となり、地域農業を盛り上げるため、次の新規施策に取り組みます。



直売出荷会員の拡大強化（新規）

地元農産物の直売所出荷を担う生産者を増やします。各地区でのPRや説明会の開催、新規生産者の発掘により、令和7～9年度で新たに計450名の直売所出荷会員の加入を目標とします。出荷者の裾野を広げることで、直売所の品揃え充実と地域農業者の収入増加につなげます。

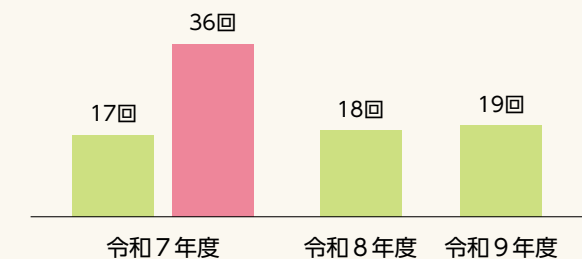
【新規加入会員】 ■…計画 ■…実績



女性部を中心とした食育活動の実践（新規）

J A女性部を中心に、地域住民や子どもたちへの食農教育活動を展開します。具体的には、おにぎり教室などの食育イベントを開催し、地元農産物や食の大切さを伝えていきます。こうした活動を通じてJ Aと地域住民の交流を深め、地域の食文化の継承と健康増進に寄与します。

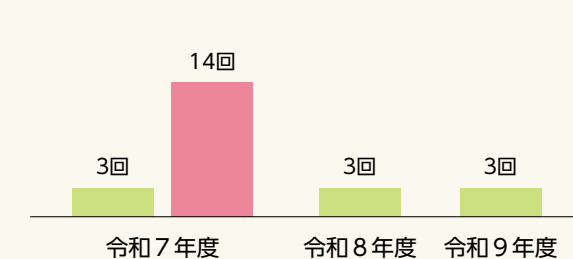
【活動回数】 ■…計画 ■…実績



農を学びとする応援活動の実践（新規）

次世代や地域住民が農業に親しみ、学べる機会を提供します。食農教育の出前授業や田植え体験などの活動を地域の学校や団体と連携して行い、農業の魅力や役割を発信します。地域ぐるみで農業を応援する風土を醸成し、将来的な担い手の確保や地域活性化につなげます。

【活動回数】 ■…計画 ■…実績



令和7年度～令和9年度



J A おおいた 自己改革の取り組み

J A おおいたは「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」を目標に、組合員の皆さまとの対話を大切にしながら自己改革を進めてきました。令和4年度からは数値目標を取り入れた具体策を毎年定めて実践し、多くのご意見やご期待をいただいています。令和7年度からは、この歩みをさらに深め、あらゆる対話の場や広報活動を通じて積極的に情報を発信しています。J A おおいたは、これからも地域農業と暮らしになくてはならない存在であり続けるため、組合員の皆さまとの対話を重ねながら、これからも「**不断の自己改革**」に取り組んでまいります。



農業者の所得増大・農業生産の拡大

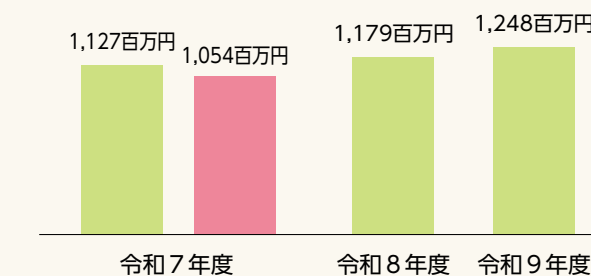
J Aの総合機能を発揮し、行政などと連携して農業振興計画に基づいた生産振興を推進します。農業者の売上増加や生産コスト低減につながる取り組みを強化し、農畜産物の生産量拡大と販売額増大を目指します。



園芸基幹品目の生産量拡大による販売額増（新規）

ハウスみかん・かぼす・キウイフルーツ・ほおずきなどの主要園芸品目について、生産拡大とブランド化施策を推進し、販売額の増加（3カ年で累計約121百万円の増収効果）を目指します。各産地・部会と連携し、生産技術の向上や販路拡大に取り組みます。

【販売高】 ■…計画 ■…実績



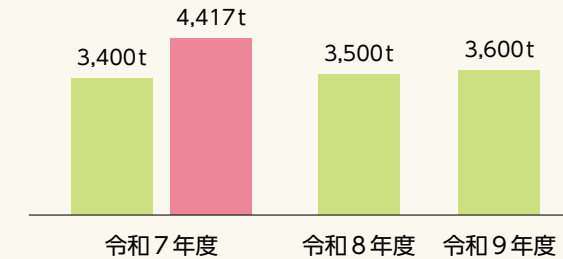
肥料の満車直行による価格メリットの拡大（継続）

農業者の生産トータルコスト低減に向けて、引き続き肥料の満車直行体制を推進します。メーカーから生産者へ中間倉庫を介さずに直送することで、輸送効率を高め、コスト削減を図ります。この取り組みにより、組合員利用者の負担軽減につなげます。（3カ年で約16.2百万円のコスト低減効果を想定）

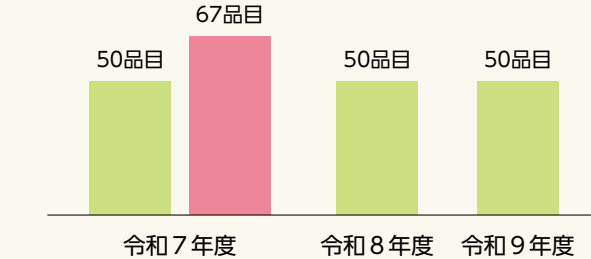
農家メリット拡大に向けた低コスト生産資材の提案（継続）

生産者の声を踏まえ、環境負荷低減肥料、銘柄集約による大量購入資材、大型規格資材など、コスト削減につながる資材の提案活動を継続します。J A全農おおいたや資材メーカーと連携し、有利な資材を紹介・提供することで、生産コストの低減効果を組合員に還元します。

【数量】 ■…計画 ■…実績



【提案品目】 ■…計画 ■…実績



次世代につなげる 初の大分県麦・大豆振興大会

8月20日、県と農業団体でつくる大分県農業総合戦略会議は「大分県麦・大豆振興大会」を宇佐市で初めて開きました。産地一体となった生産拡大の機運を高め、生産者の所得向上と次世代につなげる産地づくりを目指すことを目的に開催され、生産者や行政職員、関係者ら約200名が参加しました。

大会では行動計画を発表し、麦の集荷量を2025年の1万4,860tから2027年には1万8,163tに、大豆は624tから1,615tに増やす目標を掲げました。栽培技術の向上や担い手育成、販売力強化などに取り組めます。

同戦略会議の議長を務めるJA大分中央会の麻生俊之輔会長は「麦・大豆は食料自給率向上の鍵となる作物であり、本県でも土地利用型農業の基幹品目。生産振興を進めることで地域社会と経済の安定に役立てたい。これまで守ってきた地域農業を次世代につなげていく」と挨拶しました。来賓の佐藤樹一郎大分県知事は「本大会が生産者と実需者が相乗効果を生み出す産地づくりを進め、各産業の未来を切り拓く原動力となることを期待している」と話しました。



挨拶する麻生俊之輔会長



佐藤樹一郎大分県知事



決意表明を行う久保田昭廣さん

麦・大豆の産地拡大へ 県北部で産地育成協議会を設立

5月、麦・大豆の県内最大産地である県北部地域で、産地の維持・拡大を目的とした「麦・大豆産地育成協議会」が設立されました。生産者代表やJAおおいた、県、市の関係者ら約30名が参加。特定品目を対象とした協議会の設立は県内初です。

JA管内3市の令和7年度産麦の作付面積は3,971haで県内の約7割を占める一方、生産者の高齢化や機械・施設の老朽化などが課題となっています。協議会会長には元吉堅さんが選任され、「関係者で連携し、地域農業の発展と産地拡大に取り組みたい」と話しました。



組合員との対話と意思疎通

自己改革の取り組みと成果を組合員と共有し、いただいた意見を経営に反映させる仕組みを強化します。正組合員・准組合員を問わず組合員の声を把握し、JA運営に活かすため、以下の活動を継続・拡充します。



生産者組織との対話強化

営農指導員やTACが中心となり、出向く体制のもと、組合員への訪問活動による意見交換の継続とともに、生産者組織（部会など）の総会・地区懇談会などで対話を重ね、現場の要望や改革に対する評価を直接うかがいます。こうした対話活動を毎年計画的に行い、組合員ニーズを的確に把握します。

運営委員会・准組合員運営参画協議会の開催

運営委員会を定期開催し、JA事業や自己改革に対する率直なご意見を収集します。また、正組合員とともに地域農業・経済を支える仲間である准組合員による参画協議会を開き、JA事業への参加を促します。正組合員と准組合員がともにJA運営に参画する場を設けることで、相互理解を深めるとともにいただいた提案を経営方針に反映させます。

【計 画】

- ・令和7年度 各生産者組織 年1回以上開催 191回
- ・令和8年度 各生産者組織 年2回以上開催
- ・令和9年度 各生産者組織 年3回以上開催

【実 績】

- ・令和7年度 84部会 累計211回

令和7年度

【計 画】

- ・各エリア運営委員会 年2回以上
- ・准組合員運営参画協議会 各エリア年1回開催

【実 績】

- ・運営委員会… 17会場で2回開催
- ・准組合員参画協議会… 各エリア1回（6エリア）開催



経営基盤の確立・強化

組合員へのサービスを持続的に提供し、自己改革を下支えするため、JAの経営基盤強化にも取り組みます。人口減少や農業者数減少、物価高騰によるコスト増など、厳しい経営環境に対応し、将来にわたり健全で安定した経営を維持することが目的です。



WEB受注システム利用拡大と定着

生産部会への説明会や操作研修を通じて、利用拡大を加速し、利用者の定着化までを一連の取り組みとして進め、事務作業の効率化とサービス向上を両立させます。

令和7年度

【計 画】

- ・利用拡大を目指し、生産部会への説明。また使い勝手や利便性を考慮し普及拡大を行う。

【実 績】

- ・令和8年度の本格稼働に向けた体制整備を行い、部会総会などにおいてシステム利用登録の周知を行いました。

園芸荷受システム機能強化による合理化と効率化

集出荷場へのシステム導入を進め、荷受作業の活用範囲を段階的に拡大しながら、事務処理の統一化と精算業務の簡略化を図ります。これにより、集出荷事務の合理化を徹底し、最終的にはシステム活用による荷受・精算作業の効率化を進めます。

令和7年度

【実 績】

- ・園芸荷受システムの活用拡大に取り組んだ結果、利用率は16.7%から40.5%へ向上し、集出荷作業の手順統一および精算事務の簡素化が図られました。

令和8年度

【目 標】

- ・システムを活用した荷受作業の利用拡大
- ・集出荷作業の合理化による事務統一と精算業務の簡略化

JAおおいたでは、農業者の所得増大や生産拡大、地域の活性化、経営基盤の強化に向け、さまざまな取り組みを進めています。今後も組合員の皆さまの声を取り入れながら、より良い事業や活動につなげていきます。

お知らせ 令和8年度 JA年金相談会

年金に関する疑問・質問等あらゆるご相談に、年金の専門家『社会保険労務士』が、個別に分かりやすくお答えします。
ご相談には事前予約が必要となりますので、お近くの支店までお問い合わせください。

開催日	曜日	開催店舗	合同開催店舗	電話番号
11月 6日	金	坂ノ市支店	さかのせき支店	097-592-1670
11月10日	火	庄内支店	湯布院支店	097-582-2111
11月11日	水	うすぎ中央支店	つくみ支店	0972-63-8550
11月12日	木	本耶馬溪支店		0979-52-2356
11月13日	金	杵築支店		0978-63-1766
11月14日	土	宇佐支店		0978-32-2301
11月16日	月	玉川支店		0973-23-2226
11月17日	火	安心院支店		0978-44-0185
11月20日	金	九重支店		0973-77-7111
11月20日	金	佐伯支店	蒲江支店・みなみ支店・コスモス支店	0972-25-1270
11月27日	金	国見支店		0978-82-1211
11月28日	土	中津支店		0979-32-1212

▶開催時間・予約時間 9:30～15:00

お知らせ

組合員組織の通帳および 印鑑の取り扱いなどについて

当JAでは、不祥事未然防止の観点から、組合員組織（部会など）の通帳・印鑑を正規の手続きを経ずにJAで預かる行為を禁止しております。同様に、組合員組織（部会など）の組織活動にかかる帳票類についても、JAが代理で作成することは行っておりません。

地域により貢献できるJAを目指して役職員一同取り組んで参りますので、組合員・利用者の皆さまには、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

経営管理委員会

第9回 令和8年8月28日（金）

- 役員賠償責任保険契約更改承認の件
- 運営委員会規程一部変更承認の件
- 利益相反取引に係る契約締結承認の件

※全案件可決承認されております。

人権標語

令和7年度「差別をなくす人権標語」優秀作品

偏見は 知ろうとしない その心

臼杵高等学校 1年 村上 結捺

お知らせ

じょいんきっず9月号の答え



- ①アイコンの矢印の向き
- ②アグリ・ザ・キッドの表情
- ③みのりめぐみの手の位置
- ④タブレットの画面
- ⑤みのりめぐみの表情
- ⑥アグリ・ザ・キッドの表情
- ⑦台風の進路図の円が少ない

お知らせ

ぬいぐるみ・人形供養祭

大切な人形を、心を込めて供養します。

【人形受付】

11月12日（木）・13日（金）9:00～16:00
11月14日（土）9:00～11:00

【供養法要】

11月14日（土）11:00～

【法要会場】

- ・プリエールやまが
大分県杵築市山香町大字内河野2736-1 TEL 0977-75-1999
- ・プリエール四恩の杜 挾間斎場
大分県由布市挾間町下市464-1 TEL 097-583-2000
- ・プリエールつくみ
大分県津久見市大字中央町22-3 TEL 0972-82-2725



農業者年金のお知らせ

国が支える。安心が大きくなる。

農業者年金のご案内

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます。

※農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。



農業者年金のメリット

1. 少子高齢化時代に強い積立方式の年金です

自ら納めた保険料とその運用益（付利）を年金の原資として積み立てていき、この年金原資の額に応じて将来受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」の年金です。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万円～6万7千円までの間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

2. 終身年金で80歳までの保証付きです

農業者年金は生涯支給されます。万が一、80歳前に死亡した場合は、80歳までに受け取る農業者老齢年金の現在価値相当額を死亡一時金として、要件を満たす遺族の方が受け取れます。（死亡一時金は非課税です。加入期間等により、保険料払込額を下回る場合があります。）

3. 公的年金ならではの 税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります。

また、保険料の運用益は非課税で、将来受け取る農業者年金は公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば公的年金等の合計額が110万円までは全額控除されます。

4. 農業の担い手には、手厚い 政策支援（保険料の国庫補助）があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、農業の担い手となる方には国から月額最高1万円の保険料補助があります。

農業者年金の詳しい内容や加入については、各エリア・各支店、または各市町村の農業委員会へお問い合わせください。

読者
プレゼント

アグリ・ザ・キッドを探せ!

JOIN10月号内に横顔のアグリ・ザ・キッドが何人隠れているか探してね!
正解した方から抽選で4名さまににら・にら豚のたれをプレゼント!
応募締切 10月20日(火) 8月号クイズの答え: 2人 (P2・P11)

今月の読者プレゼント

◎にら・にら豚のたれ



ウェブからの応募も
お待ちしております

横顔の
ぼくを
探してね!



見本

応募方法

- ①10月号
- ②登場したアグリ・ザ・キッドの横顔の数
- ③にら・にら豚のたれ
- ④郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号
- ⑤ご意見・ご感想
- ⑥ペンネーム

郵便はがき
〒710-0046
大分県大分市
花園3丁目2番10号
JAおおいた本店
ジョイイン編集係 行
〒

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。
※提供される個人情報は、当JAの個人情報保護方針に基づいてお取り扱いいたします。

おたより
紹介



アンケートにお寄せいただいたご意見や感想の一部をこのコーナーで紹介いたします。

join アグリ・ザ・キッドを探せ!が大好きなので、読物の前に一番先に探しています。
宇佐市 M.Kさん(40歳)

アグリ・ザ・キッドを探すの楽しいですね。上手に隠れているので毎月探してくださいね。

join 8月も厳しく暑いですが。夏バテ対策に水分、カリウム、ミネラルも多いきゅうりを食べましょう。
臼杵市 臼杵の赤いバラさん(74歳)

まだまだ暑い日が続きますよね。わたしもきゅうりを食べて暑さを乗り切りたいと思います。



おいしい レシピ帳

recipebook



にらは最後に加えてサッと火を通すと、色鮮やかに仕上がります！お弁当に入れるときは、しっかり冷ましてから詰めましょう。



にらと鶏そぼろのいなり

使用食材と分量 (8個分)

ご飯	A
…… 約330g (米1合分)	しょうゆ …… 大さじ1
味付けいなり揚げ	みりん …… 大さじ1
……… 8枚	砂糖 …… 小さじ1
鶏ひき肉 …… 100g	すりおろししょうが …… 小さじ1/2
にら …… 1/2束 (約50g)	
卵 …… 1個	
白いりごま …… 小さじ1	
サラダ油 …… 小さじ1	

作り方

1. にらは飾り用に数本取り分け、残りは5mm幅に切る。
2. 卵を溶きほぐし、サラダ油の半量を熱したフライパンに卵を入れて炒り卵を作り、取り出す。
3. 同じフライパンに残りのサラダ油を熱し、鶏ひき肉を入れて、火が通るまでほぐしながら炒める。Aを加えて汁気が少なくなるまで炒め、刻んだにらを加えてサッと火を通す。
4. ご飯に3と白いりごまを加えて混ぜ合わせ8等分し、味付けいなり揚げに詰める。
5. 飾り用のにらは、サッとゆでて水気をしっかり拭き取り3～4cm幅に切る。飾り用のにらと炒り卵をいなりの上にふんわりとのせて完成。

健康情報

今日の注意が
明日の元気



一生自分の足で歩くために 「ロコモ予防」の基本

最近、横断歩道を渡りきるのが大変だったり、片足で靴下が履きづらくなったりしていませんか？それは「ロコモ」のサインかもしれません。ロコモとは、骨や関節、筋肉といった「体を動かすパーツ」が錆びついたり弱ったりして、歩く・立つといった日常の動作がスムーズにできなくなる状態を指します。いわば、体の移動機能が弱り始めているサインです。

◆質の高いウォーキングのヒント

ただ歩くだけでなく、姿勢と歩幅を意識するだけで歩行は立派なトレーニングに変わります。視線を遠くに置いて背筋を伸ばし、かかとから着地して、つま先で力強く地面を蹴りましょう。いつもより「こぶし1つ分」だけ歩幅を広げること、お尻や太ももの大きな筋肉が刺激され、効率よい移動機能の維持につながります。

◆毎日続けたい2つの習慣

家のなかでの移動や、外出が難しい日には次の「ロコトレ」が効果的です。

1 スクワット

椅子に座るようにお尻を後ろに引き、下半身の筋力を維持します。

2 片足立ち

机につかまり左右1分ずつ足を上げ、転倒を防ぐバランス力を養います。

「1日一万歩」という数字に縛られる必要はありません。まずは「今日より10分多く歩く」ことから、無理なく始めてみましょう。

お問い合わせ先

大分県厚生連健康管理センター
TEL(0977)23-7112

女性部・青年部の
日々の活動をお届け！

Joinstagram

ジョインスタグラム

SDGs



J A おおい
J A 女性部
ページへ



山香女性部

#手作り調味料 #暑さに負けない

♥県産野菜を使った料理で暑い夏を乗り切る

山香女性部フレンドサークルは管内の公民館で県産品を使った料理教室を開き、部員16名が参加して焼肉のたれや大葉みそ、ネギみそを作りました。



由布女性部

#おすすめ商品 #暮らしに役立つ

♥エコープマーク品の美味しさや利便性を紹介

由布女性部はエコープマーク商品見本市を開き、エコープマーク品のほか、協力希望メーカー7社が取り扱う商品の特徴や利便性を紹介しました。



国東女性部

#子どもたちとの交流 #食について学ぶ

♥児童に楽しく食農教育「ちゃぐりんフェスタ」開催

国東女性部はかえで放課後児童クラブで、ちゃぐりんフェスタを開き、食育をテーマにした紙芝居やクイズを行ったり、ちゃぐりに掲載されているパペットを製作しました。

J A おおい女性部・青年部の活動をチェック！

女性部は、『常に笑顔の活動』をする組織です。「食生活」「くらし」「文化」などをテーマに、楽しく学び、地域に生かされる輪を広げる活動を行っています。

青年部は、『地域農業の振興』を目指す組織です。「環境」「文化」「教育」などをテーマに、地域社会に貢献し、食と農の価値を高める活動を行っています。



豊後大野女性部

#グリーンのある暮らし #学びの時間

♥手入れも簡単な水耕栽培

豊後大野女性部は緒方公民館で、部員の工藤和代顧問を講師に、ハイドロカルチャーを使った水耕栽培の講習会を開きました。部員33名が参加しました。



中津女性部

#住みよいまちづくり #環境美化

♥猛暑の美化活動

中津女性部は地域への感謝を込めて、部員らが使用する研修センター周辺でゴミ拾いや除草を行い、美化活動に取り組みました。



国東女性部

#食を楽しむ #季節の味

♥旬の食材調理 家の光料理教室

国東女性部は安岐支店調理室で、「家の光」の記事を活用した料理教室を開き、女性部員と事務局あわせて15名が旬の野菜を使った料理を作りました。



じょれん まっす

まちが さが じ しん
間違い探し「地震だ! まずはどうする?」

じ しん お じ ぶん み まも
地震が起きたら、まずは自分の身を守ろう。

あわてて動かず、安全な場所で落ち着いて行動しようね!

こん かい まちが さが
今回も7つ間違いがあるから探してみてね!

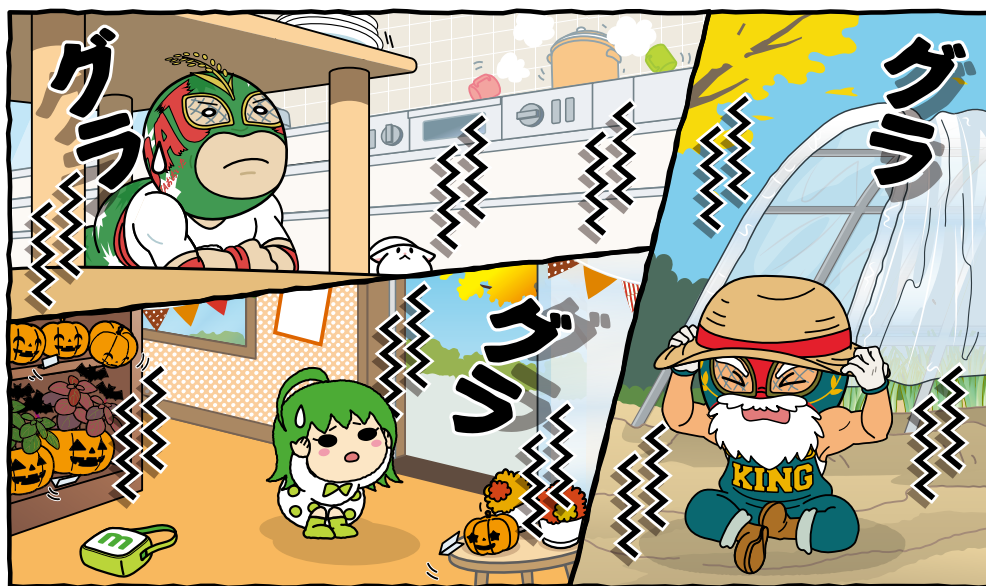
スマートフォンをお持ちの方は、下の二次元コードからも答えを見ることができます。

【手順】

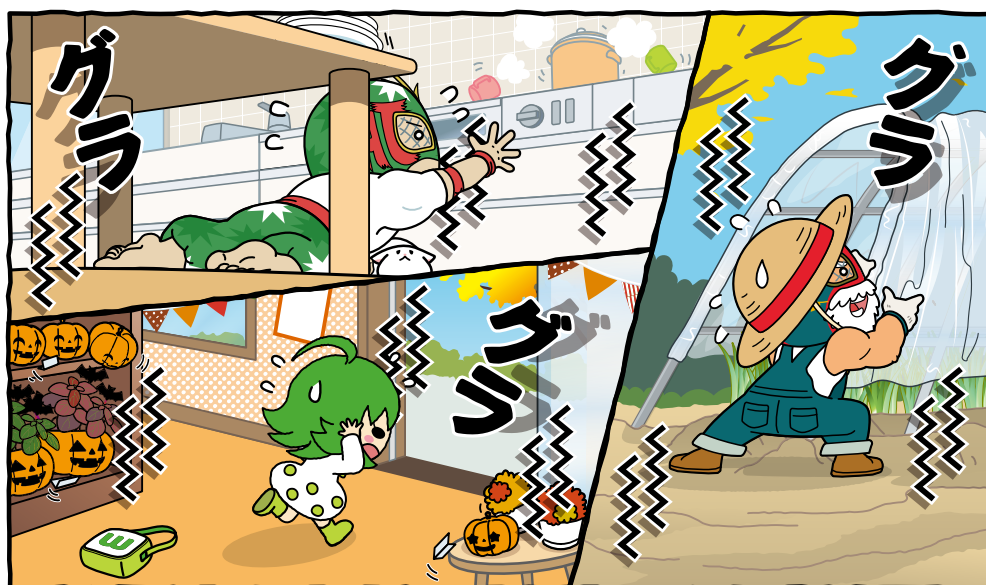
- ①二次元コードをスキャンし、ウェブカメラを起動する
- ②起動したウェブカメラを[した]のイラストにかざすと答えが出てくるよ!



うえ



した



こた がつ ごう おし
答えは11月号で教えるよ!